

# 美しい式番街(緑の号) (その4, 1996年11月5日)

コープ野村南流山式番街管理組合+緑化専門委員会

## 『大規模改修工事の東面外構の整備の内容』について

「美しい式番街」(No.7)の大規模修繕工事の概要の中で、当マンションの東面は駅からの人の動線上にあって目立ち、当マンションの玄関といえる場所で、資産価値を高める上で効果が高いことが述べられました。これに対して東面は、植栽の土止めに使われているものが敷石ブロックや円筒形のコンクリートピースなど材料が個々に違い、花壇があったり、植栽されている木も統一性に欠いた状態のため、大規模修繕工事の外構工事として整備が行われます。この概要を説明します。

整備は図1の点線の枠内で行われます。図中の○で囲んだ数字は図2以降の各位置でのイメージ図に対応します。

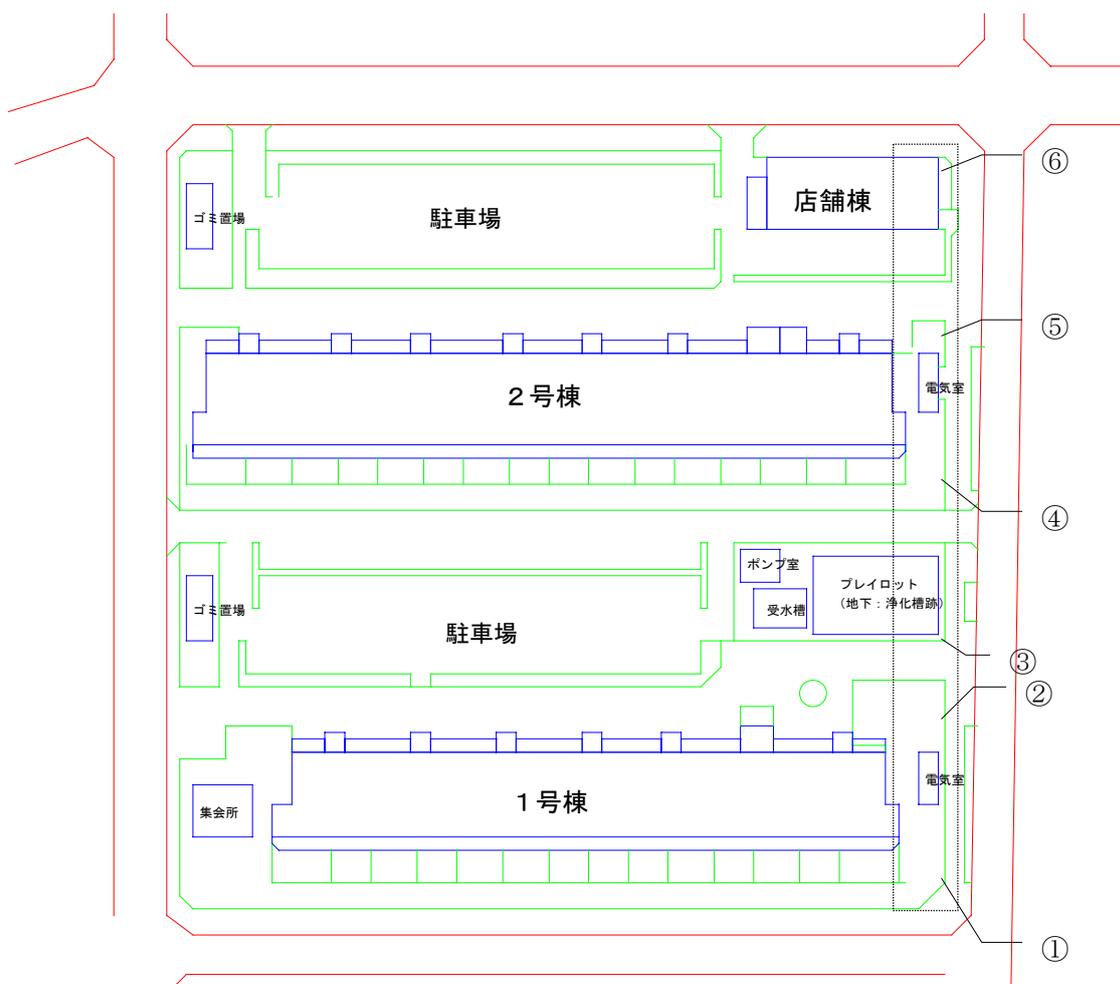


図1 コープ野村南流山式番街 東面整備 (図中の数字は以降の図に対応)

## ■ 改善に対する共通事項

### (1) 樹木の密集による日照、風通しの悪さ改善

当マンションが建設されて以来、これまで強剪定が行われず、枝・葉が密集した状態となっています。これは樹木の成育のために良くなく、病虫害の原因となるばかりでなく、1階居住の方の日照を妨げたり、風通しを悪くするなど住環境の低下の原因となっています。そこで強剪定、枝払い、また、成長により密となった複数の樹の一部を撤去します。

### (2) 枯木や病気の樹の撤去

(1)と関連しますが、病気などにより著しく成長の悪い樹や枯木、また、成長により隣の木の成長を妨げるようになってきた樹をバランスを見て撤去します。

### (3) 電線下の樹木

店舗棟隣の植え込みにあるケヤキは電線の真下にあり、これまで電線にかからないように枝払いなどを行わねばなりませんでした。今後の問題もあり、この樹を撤去し、他の電線の障害とならない樹を新植します。

### (4) 美観改善

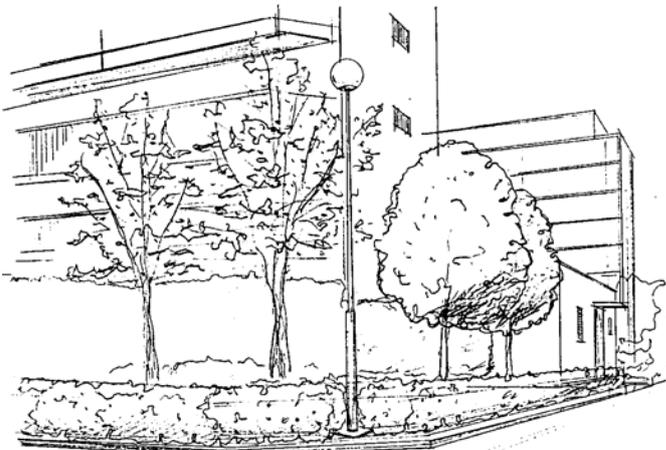
当マンションの植え込みは、高木の周囲を除いて工事で使用された砕石が地面の表層近くまであります。このため、低木が根を張れない状況となっています。よって歩道と植え込みの部分を区切る縁石の部分の高さ約 40cm の土止め（タイル貼り）として根が張れる厚さの土壌を入れ、低木を植えます。なお、この土止めは当マンション内と歩道部の区切りを明確にする意味ももちます。

### (5) 現在、植えられている樹の利用

東面に現在、植えられている樹を活かしながら整備を図ります。また、ツツジ等の低木の補植は移植可能な部分についてはこれを利用します。

## ■ 各部位のイメージ

次に各部のでき上がりイメージを示します。



角の植え込みの中に入って斜めに横切る人がいるため、部分的に土壌が固くなってしまい、植物が育たない状態となっています。角の部分にツツジ等を補植し、植え込みに入ることを防止します。また、病気などにより成長の著しく悪い樹、また、成長により、密集してきた樹を撤去します。

図2 ①の部位のイメージ図

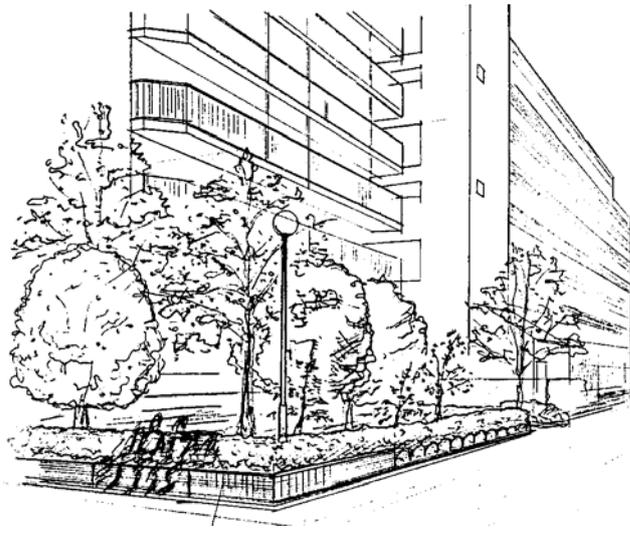


図3 図②の部位のイメージ

電気室からライオン公園側に向かって約 40cm の高さの土止め壁を設け、土を入れ、ツツジの植え込みを行います。従来、歩道側にベンチが飛び出していましたが、植え込み側に凹部を設け、この中にベンチをいれるようにします。

病気などにより著しく成長の悪い樹、また、成長により密集してきた樹を撤去します。そしてバランスの悪い部分に補植を行います。

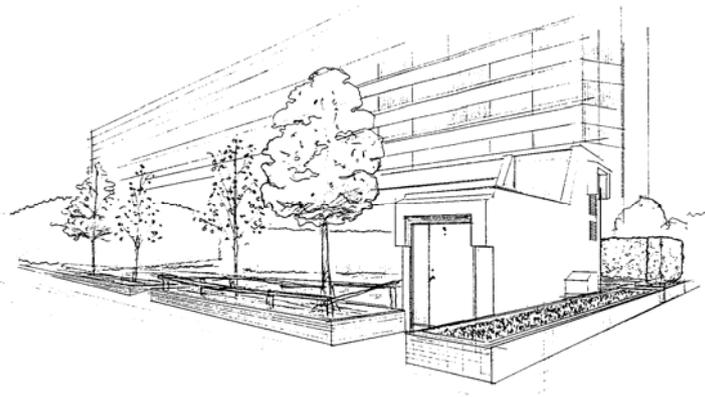


図4 図③の部位のイメージ

【備考】 ③の部分の駐車場の出入口部分の植え込みは、自動車が出る際に視野の妨げとなっており、事故防止の観点から角の部分に斜めに剪定し、視認性を改善します。

ライオン公園の土止め壁はひび割れが目だってきていることから補修の上、タイルの仕上げします。そして密となっている1号棟側の植栽を整理し、新植します。ライオン像の東側の部分は土が堅くなっているため、土壌の入れ換えを行い、今後の新植を行えるようにします。

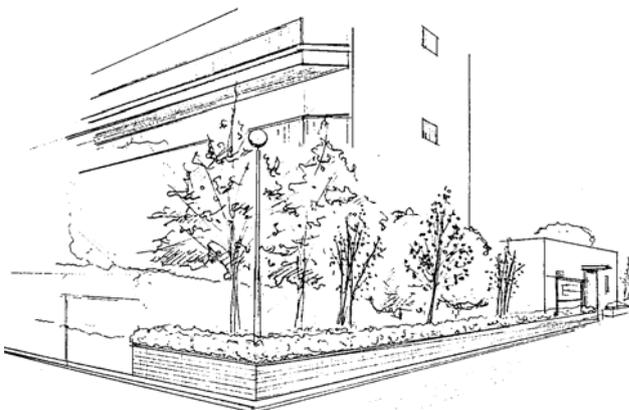


図5 図④の部位のイメージ

樹木が密になっており、日照、風通しを妨げる状態になっている部分を樹木の撤去、枝払いなどにより改善します。

歩道側に土止め壁（タイル張り）を設けて、土砂を入れツツジ等の低木を入れ、現在の花壇のようになって整備状況が悪い部分を改善します。

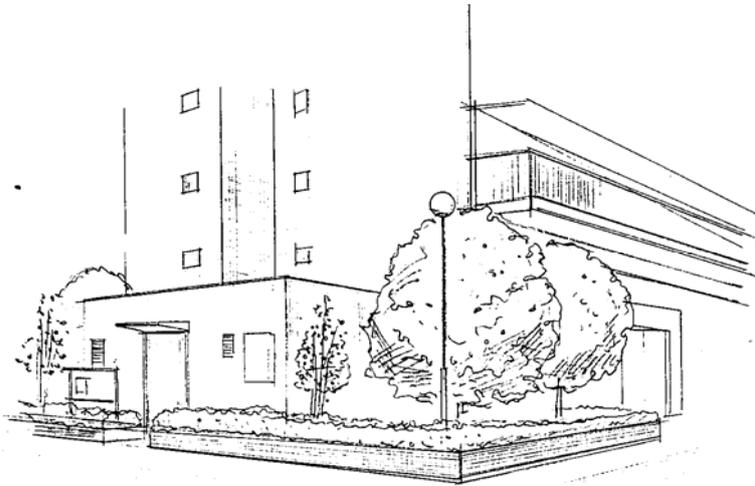


図6 図⑤の部位のイメージ

歩道との境界部分に土止め壁（タイル張り）を設けて土砂を入れ、ツツジ等の低木を植栽し、現在、小山状に植栽が施されている部分を整理・改善します。

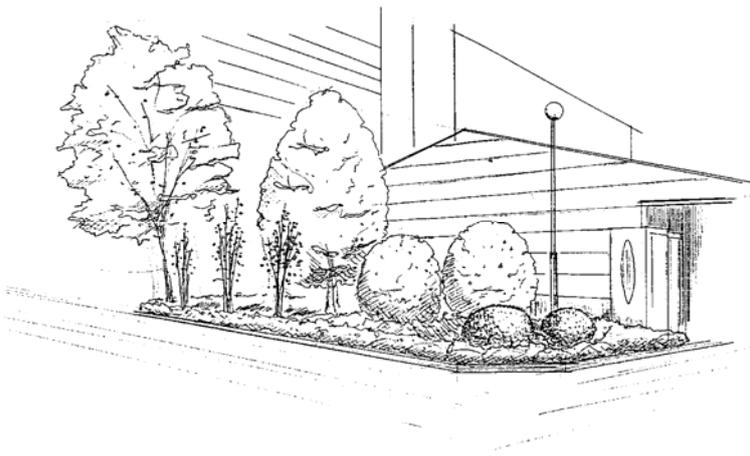


図7 ⑥の部分のイメージ

駅から当マンションへ来る際にまず、目に入る部分のため、約 40cm の高さの土止め壁（タイル張り）を設け、土を入れ、ツツジの植え込みを行います。

店舗となりの植え込みにあるケヤキの樹の1本が電線の真下であり、これまで枝払いなどで問題となってきたことからこれを撤去します。

注：イメージ図ですので、実際と異なる場合があります。

大規模修繕工事で色々、ご不便をおかけいたしますが、引き続き、ご協力の程、宜しくお願いします。